

令和4年(2022年)9月16日

0123 アート引越センター

アート引越センター株式会社

過去作の視聴回数が1500万回を超える人気アニメシリーズ最新話
『#06_引越で幸せを』篇 9月16日(金)より公開!

最新話公開を記念して、いずみちゃん役(花澤香菜) アーボット役(石田彰)
直筆サイン入りクリアファイルが抽選で当たるキャンペーンも実施!

アート引越センター株式会社(本社:大阪府大阪市、代表取締役社長:寺田政登)は、未来の引越を描いたアニメーションムービー最新話『#06_引越で幸せを』篇を9月16日(金)より当社公式HPおよび公式YouTubeチャンネルにて公開します。YouTubeチャンネルでの過去作#01~#05の総視聴回数は1500万回を超え、多くのファンに視聴頂いており、待望の#06の公開となります。

最新話#06はいずみちゃんの一言がきっかけで、未来の引越アイテムを開発するエースの主任がなぜスランプになってしまったのかに気付くというストーリーです。主任の開発に対する思いをエモーショナルに描いておりますので、是非ご注目ください。



また、最新話の公開を記念して、いずみちゃん役(花澤香菜)アーボット役(石田彰)直筆サイン入りクリアファイルが抽選で3名様に当たるTwitterフォロー&リツイートキャンペーンを実施します。詳しくは、Twitter公式アニメーションムービーアカウント(@art0123_pr)もしくはHP(<https://www.the0123.com/anime/>)をご覧ください。



※賞品画像はイメージとなっております

当社では今後も「暮らし方を提案する」企業を目指し、常に新たな取り組みにチャレンジし、より多くのお客さまに喜びいただけるように努めてまいります。

アニメーションムービーに関する概要につきましては、次項以降をご参照ください。

【アニメーションムービー概要】

タイトル	「#06_引越で幸せを」篇	
公開日	9月16日（金）～	
公開場所	https://www.the0123.com/anime/	
制作スタッフ	クリエイティブ・ディレクター プランナー/コピーライター コピーライター マネージャー デザイナー クリエイティブ・プロデューサー アカウント・エグゼクティブ 監督 キャラクターデザイン サブキャラクターデザイン 脚本 プロデュース/アニメーション制作 音響制作 声優 エンディングテーマ曲 「あげるね！～アートなハートで～」 作詞・作曲 編曲 歌	若林 哲也（シェルパ） 川上 毅 山下 修平（シェルパ） 森 章（ADEX 日本経済広告社） 楠木 愛子（シェルパ） 越智 遥（シェルパ） ブルーワー マリア ガブリエラ（シェルパ） 大槻 泰弘（ADEX 日本経済広告社） 泉 勝治（ADEX 日本経済広告社） 山田 爽太（ADEX 日本経済広告社） 阿保 孝雄 堀 元宣 安食 圭 筆安 一幸 スタジオバインド 田中 理恵（マジックカプセル） いずみちゃん / 花澤 香菜 アーボット / 石田 彰 小坂 明子 富永 航大 ナカタ カスミ

【キャスト】

いずみちゃん : 花澤 香菜 (Kana Hanazawa)

2月25日生まれ 東京都出身

主な出演作は、『はたらく細胞』（赤血球）、『物語』シリーズ（千石撫子）

『PSYCHO-PASS サイコパス』（常守朱）、『鬼滅の刃』（甘露寺蜜璃）など。



アーボット : 石田 彰 (Akira Ishida)

11月2日生まれ 愛知県出身

主な出演作は、『新世紀エヴァンゲリオン』シリーズ（渚カヲル）

『昭和元禄落語心中』（八代目 有楽亭八雲／菊比古）、『銀魂』（桂小太郎）

『劇場版「鬼滅の刃」無限列車編』（猗窩座）など。



「#06_引越で幸せを」篇 ストーリーボード①



アート引越センター本社のカフェラウンジ。
光でエネルギーを生み出す
アーボットのユニフォームに関心するいずみちゃん。
それを開発したのも、もちろん主任であると
アーボットが説明している。



そんな主任がスランプに陥っている事を
気にかけるいずみちゃん。
コーヒーカップを見つめる主任。



いずみちゃんの
「引越っていいね。私も将来、こんな風に
誰かを笑顔にできる仕事がしたいなあ…」という
言葉を反芻し、入社時の自分に思いを馳せる主任。



(以下回想シーン)
入社して、未来研究室に抜擢されて、
「お客様に笑顔になって欲しい…
引越の不安や、心配を取り除いて
楽しく、ワクワクと新しい生活を送って欲しい」
という思いで、アイテムの開発に打ち込んでいる。
次々とアイテムが開発されていく。



未来研究室。
開発に没頭している主任。
空間の中に吸い込まれていく
開発アイテムの設計図たち。

「#06_引越で幸せを」篇 ストーリーボード②



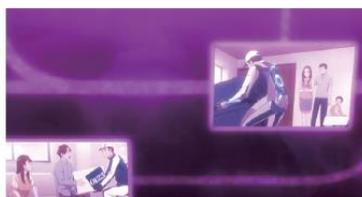
ペンが落ち、疲れた表情の主任が、椅子にもたれたまま、倒れるようにこれまで開発したアイテムの設計図たちが浮かぶ空間にゆっくり沈んでいく。



「新しいアイテムを開発することができなくなった…」
「アイテムを開発することが目的になってしまっていたから…」と流れていく設計図に漂う主任。



主任といずみちゃんが交差していく。アイテムを開発するためではなく、お客様を笑顔にするためにアート引越センターに入社したことを「あの子が思い出させてくれた」とハッと目を開く。



設計図がお客様たちとの思い出の場面に切り替わっていく。決意の表情で力強くペンを握む主任。
(以上回想シーン)



主任がタブレットのスイッチを入れ、無人の未来研究室のモニターを起動していく。カフェラウンジで作業する主任のタブレットと連動するように図面が書き込まれる。



作業中の主任が「…! できる!!」と目を輝かせる。美しい夕日に染まったカフェラウンジ。

#7につづく